

令和2年度 高知県災害医療対策会議 議事概要

1. 日時 : 令和3年3月18日(木) 14:30~16:00
2. 場所 : 高知県庁 2階 第2応接室
3. 出席者 : 岡林弘毅議長、北村龍彦副議長、鎌倉昭浩副議長、野並誠二委員、西森康夫委員、藤原房子委員、西山謹吾委員、島田安博委員、加志崎万蔵委員、吉岡邦展委員、中澤誠委員、中岡誠二委員、谷村正信委員、林和俊委員、山崎浩史参与員、西田武司参与員、奥谷陽一幡多地域会議長(名簿記載順) 計17名
4. 概要 :

議題

(1) 医療支援チームの派遣等に関するワーキンググループについて

事務局から資料4-1~3により説明し、事務局案どおり承認された。
質疑については特になし。

(2) 受援マニュアルについて

事務局から資料5-1・2により説明した。

【主な質疑】

○医療救護チーム、医療支援チームと名称が色々分かれているが、意図はあるのか？

→ (事務局)

特に意図は無いので医療救護計画に載せる段階で整理していきたい。

○チームではなく、個人で支援に来られる様な方もこの受援の対象か？

→ (事務局)

今回の受援マニュアルではあくまでもチームで活動している方を対象と想定しているが、様々なチームや個人が入ってくることを想定し、受援マニュアルを整理していきたい。

○連絡体制をとるということは、DMAT等の参集場所などについて連絡を取り合い、事前にどういったチームが入ってくるか把握できるということか？

→ (事務局)

例えばDMATであれば参集場所が決まっていて、こちらからコンタクトをれば、どのチームが活動して、どのくらいの医療資機材を持っているかというのは把握できる。

ただ、個人やスポットで来られるチームなどもあるので、しっかり窓口を構えてチームの活動状況を把握していくこととしたい。

(3) 第7期高知県保健医療計画について

事務局から資料1-1~3により、第7期高知県保健医療計画について説明した。
質疑については特になし。

(4) 令和3年度災害医療関連予算の概要について

事務局から資料2により、令和3年度災害医療関連予算の概要について説明した。

【主な質疑】

○高知大学では県の寄附による災害・救急医療人材の育成・確保を行っている。人材確保として考えた時に、学生のうちから災害や救急に興味を持ってもらって高知県に残ってもらうことが医療従事者の確保につながると考えているが、学生対象にはこの予算は使えないとされていて、ネックになっている。学生対しても使えるようにしてほしいと思っている。

→ (事務局)

この制度が2年前から若干変わり、以前であれば学生への教育に使えていたが、大学で講座を設置したことから、学生への教育は大学の授業で、県からの寄附では医療従事者への教育と役割を分けた経緯がある。

次に事業の見直しをする際に何か方法が無いか検討したい。

(5) 災害医療に関する研修及び訓練の令和元、2年度実績及び令和3年度の予定について

事務局から資料3-1~3により、災害医療に関する研修及び訓練の令和元、2年度実績及び令和3年度の予定について説明した。

質疑については特になし。

(6) その他 (DMAT派遣) について

事務局から資料6により、令和2年7月豪雨災害におけるDMAT等の派遣状況について説明した。

【主な意見】

○高知赤十字病院から実際に派遣したDMATからの意見として2点ほど共有させていただきたい。

一点目、県外チームが現地で活動する際は、地元の保健師の方などが同伴していただくことで、住民の方の協力を得やすいと感じた。

二点目、土砂災害で道路が寸断されている場所もあるが、自衛隊の協力により車両に乗せてもらう等、安全を確保できたうえで活動できた点は良かった。